

特集

生協のお店をエコ探検

〜コープ東広島環境対策ガイド〜



私が案内します!



生協ひろしま
コープ東広島店長 川崎 和浩
※1月11日付けてコープ船越に異動

「エコ探検隊」(左から)
浅賀 直美さん、草野 みどりさん、
高鷹 邦子さん、高橋 喜代美さん

昨年10月にオープンしたばかりのコープ東広島。ピカピカの建物は、毎日たくさんのお客様で賑わっています。実はこのお店には、環境を守るためのさまざまな工夫がいっぱい!今回は、組合員さん4名が「エコ探検隊」を結成し、屋根の上から調理場まで徹底調査しました。さあ、みなさんも一緒に、紙上エコツアーに出かけましょう。お家でのエコのコツも見つかるかもしれませんよ。

屋根の上で電気を作る 「太陽光発電」

私たちが普段使っている電気の多くは、石油などを燃やした熱を利用する「火力発電」。石油などの化石燃料は将来なくなる可能性があること、燃やす時にCO₂を出して地球温暖化を進めてしまうという二つの問題があります。こうした問題の解決に向けて、今回、コープ東広島の屋根に取り付けられたのは、太陽光発電のパネル48枚。この太陽光発電設備10kWは、一般社団法人新工

ネルギー導入促進協議会の平成21年度地域新エネルギー等導入促進事業により実施したものです。「うわー!屋根の上にソーラーと並んでるね!」と探検隊。昼間ふりそぐ太陽光を電気に変えて最大約10kW発電し、1日に使用する電気1400kWhの約1%をまかっています。「店内の表示装置に発電量が表示され、省エネ意識も高まりました」と川崎店長。



太陽光発電のパネル。意外と大きい



光を吸収して電気に変えるパネル



■ノン・トレイ商品を販売

精肉売場では、トレイを使用しない「ノン・トレイ商品」を販売。ブロック肉からスライスして、きれいに並べるのが難しいのですが、トレイを使わない分、包装資材を節約できます。



共同購入でもおなじみの商品

■エコ商品を積極展開

「私たちがリサイクルコーナーに出した牛乳パックは、このトイレトーパーに使われているのね」と探検隊が指差したのは「コアノンロール」。再生商品を使ってこそ、リサイクルの輪につながります。また、省資源につながる詰め替え商品などもたくさん取り扱っています。



エコ商品が並ぶコーナー

コアノンロール

■生ゴミを再利用

生ゴミをリサイクルした肥料「リサイクルグリーン」。詳しくはP5で!



■マイバッグを忘れた方に無料貸し出し中

東広島市は、レジ袋の無料配布中止エリア。コープ東広島でも、組合員さんにマイバッグの持参を呼び掛けています。「あっ、マイバッグ忘れてきちゃった!」という時のために、無料でマイバッグ、マイバスケットを貸し出します。



■エコステーションで発電量分かる

屋根の上の太陽光発電の発電量を表示。コープ東広島のエコな取り組みも、一瞥で紹介しています。



エコステーションの表示をチェック

店舗で回収するもの

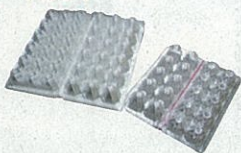
〔飲料パック〕

〔トイレトーパー〕
牛乳パック、ジュース類の紙パック(生協で購入したものでなくてもOK)。



〔卵パック〕

〔卵パックに再生〕
生協で取り扱っている卵パック。



〔発泡トレイ〕

〔トレイに再生〕
つまようじがささるもの。色柄つきのものもOK。



〔透明トレイ〕

〔透明トレイに再生〕
エフピコまたはチューパのマークが刻印されたもの。お刺身容器のふた、惣菜の入れ物など。



〔ペットボトル〕

〔プラスチック原料に再生〕
飲料、酒類、しょうゆのペットボトル。





■生ゴミ類は肥料に

野菜くずなど食品残さは、焼却せずに、肥料にリサイクル。「割り箸やつまようじなどは混じらないように、分別しています」と店長。魚のあらは、魚粉に再生されて、動物の飼料に使われています。



種類ごとに分類管理

■廃油はトラックの燃料に

惣菜の調理に使われた食用油は、BDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクル。「庚午支所の共同購入の配送トラック4台が、実際に走っています」と聞いて、調査隊のみなさんはビックリした様子でした。



2009年5月から導入された車両

■地産地消を推進

毎週月曜日は、近郊の農家から直送の野菜を販売。「輸送距離が短いので、輸送にかかるCO₂が少なくて済みます」と店長。「新鮮さ、安心感だけじゃなくて、環境にも優しいのね」と調査隊も地産地消の良さを納得しました。



店頭で種類豊富に販売中

■通い箱で省エネ

バナナなどの商品の運送には、くり返し使える「通い箱」を使用。使い捨ての段ボール箱は使いません。



通い箱は何度も使えます

■照明をエコなLEDに!

「ここの照明、ちょっと他と違うんじゃない」と探検隊が発見! パン、アイスクリーム売場、看板に従来の電球や蛍光灯より消費電力が少ないLEDが使われています。「LEDは蛍光灯に比べ約5倍寿命が長いので、省資源にもつながります」と店長。また、「キャンピー照明」と呼ばれる、棚の上にせりだした照明で、電球の数を減らしています。

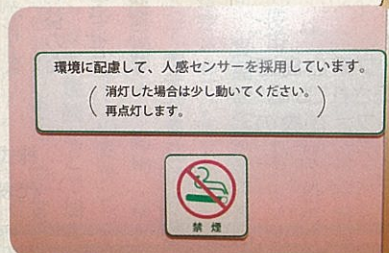
これがLEDね!



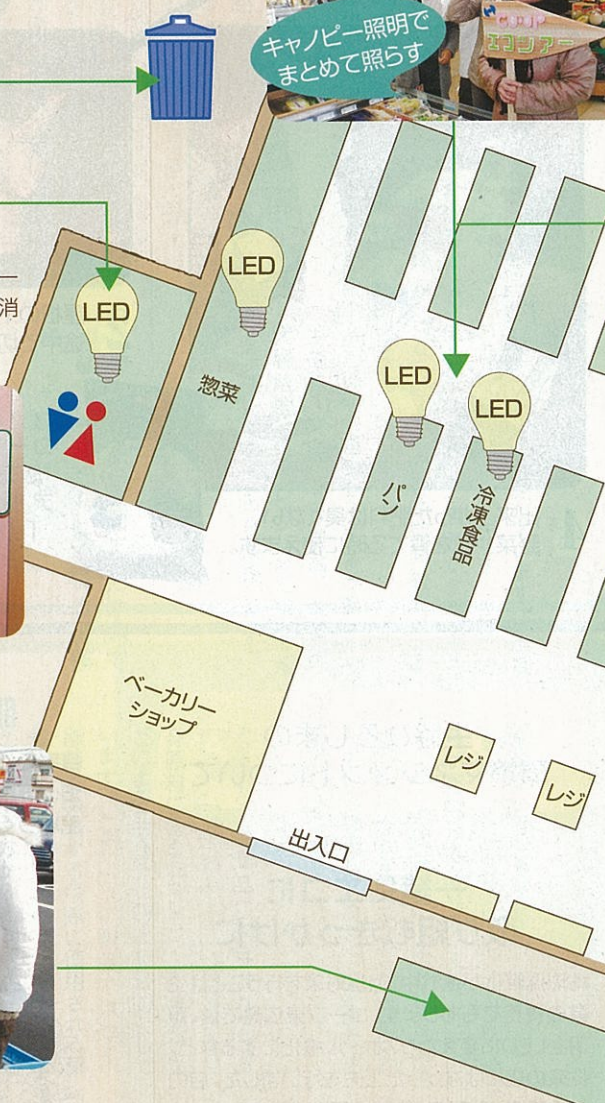
キャンピー照明でまとめて照らす

■トイレの電気が自動で消える

トイレの中の電球もLEDを使用。センサー付で人がいないときには、照明が自動で消えます。



消し忘れを防止しています



■リサイクルコーナーで回収

おなじみの牛乳パック、食品トレー、たまごパック、ペットボトルを回収するボックス。「リサイクルをすると、資源が有効利用できます。また、木から紙をつくるより、牛乳パックから紙を作る方が消費エネルギーが少なくて済み、間接的にCO₂削減につながります」と店長。



きれいに洗って入れるのがポイント





生協のお店をエコ探検

店舗から出た 生ゴミを追跡



資源を循環させて 土に返すリサイクル

コープ東広島など、生協ひろしまの6店舗から出された生ゴミは、安芸高田市美土里町の株式会社アルファ有機に運ばれます。下水処理場から出た汚泥の水分量を60%以下に調整し、生ゴミと混ぜ合わせて発酵させます。発酵促進のため空気送風と切り

返しを数度行い、約1カ月かけて肥料の出来上がり。においもなく、サラツとしていきます。

株式会社アルファ有機代表取締役の高橋信広さんは、「塩分や油分の多い生ゴミは肥料にできないので、分別の手間がかかります。でも、リサイクルは利益のためというより資源を循環させるもの。積極的に取り組んでいきます」と言います。

株式会社アルファ有機
代表取締役 高橋 信広さん



3 野菜くすなども、だんだん見えなくなります。



1 生ゴミを運び込み、汚泥と混ぜます。



2 屋根の下で醗酵させます。途中で切り返します。



4 出来上がった肥料は臭くない。野菜や花を育てる時に使えます。



コープ東広島で販売されているアルファ有機の「リサイクリン」

生協ひろしまの 環境マネジメントについて

一緒にエコに 取り組むきっかけに

地球温暖化が進む中、環境対策を行うことは企業の責務でもあります。コープ東広島では、照明をLEDに変えたり、オール電化にするなど、従来の店にはなかった工夫を行いました。店内の冷蔵庫、冷凍庫は夜間の電気で氷を作って冷やす「氷蓄熱」方式。空調もインバータで効率アップ。以前のコープ八本松と比較して約半分の電気使用料になりました。環境対策というのは、直接、利益には結びつきません。コストも手間もかかっていますが、組合員さんや地域のみなさんと共に、環境対策に取り組むきっかけにしたいと思います。リサイクルやマイバッグの持参など、組合員さんのご理解なしにできないエコ活動もあります。これからも、みなさんのご協力をよろしくお願いします。

経営企画室
佐々木 桂一

肥料で資源を有効に

自宅で、生ゴミに米ぬかを混ぜて、肥料を作り、畑の野菜を育てています。アルファ有機さんの肥料づくりも、資源の有効利用という観点では同じです。利益を追求しない姿勢には感動しました。店舗でのエコバッグ貸し出しサービスは知らなかったもので、これから活用したいです。

高鷹 邦子さん



私もプチエコしたい

普段、利用している店舗でも、言われなければ気付かないところに「環境に優しい工夫」がされていると思いました。太陽光発電は、ぜひ長く続けてほしいと思います。「ゴミの分別は重要」と改めて実感、これから実行を決意しました。自分にできるプチエコ、続けたいです。

草野 みどりさん



「エコ探検隊」 1日見学を 終えて

省エネは経費削減にも

コープ東広島の前身となるコープ八本松と比べ、電気使用料が半分になったという事に驚きました。組合員さんも一緒になっての工夫の成果だと思えます。省エネは、環境のためにもいいですし、経費削減にもつながります。これからも、もっと進めたいですね。

浅賀 直美さん



知識が大切です

環境問題には、普段から関心を持っていました。家庭と企業では、規模に違いがありますが、利益に関係なく、エコは必要だと思います。設備を導入して行うエコも、生活の中でできる小さな取り組みも両方大事。知識を得て、大きなエコにつなげていきたいと思っています。

高橋 喜代美さん

